

【2012年度】番組審議委員会議事録

2012年度 第1回番組審議委員会 議事録（抄録）

【開催日】

2012年6月16日（日）10:00～13:00

【開催場所】

JCN 関東本社 3階会議室

【参加者】

○放送番組審議委員 ※敬称略（五十音順）

菅原絵美子、田川啓二、中村丈夫、藤川一幸、宮崎晃一、三輪祐子、本橋一好、横田等
[欠席]小松正毅、草野律子、南雲晴美

○株式会社 JCN 関東

代表取締役社長 日野廣生、取締役 坂出宜隆、取締役 小池喜一郎、
営業推進部長 栗原尚孝、CS 推進室長 中原勉、県央支社長 高田純一、
川越支社長 魚住和幸、南支社長 石渡一樹、春日部支社長 鈴木尚彦、
越谷支社長 石倉康浩

○ジャパンケーブルネット株式会社

CC 運用部 星伊久磨

○事務局

東エリア制作グループ マネージャー 白井信之、木村亜希子

西エリア制作グループ マネージャー 北條英行、二重作徹

メディア推進グループ マネージャー 奥原靖司、土田恵美、高橋杏奈

■議事内容

○JCN 関東の近況報告とサービス内容説明（日野社長）

加入状況はテレビ・インターネット・電話の3サービス合計で約20万5千世帯、テレビの難視対策で、アンテナの代わりに地上波のみご契約頂いている世帯が約6万3千世帯あります。全部で約27万世帯の方がケーブルテレビを利用している。

○コミュニティーチャンネル（コミチャン＝自主制作番組）について

去年は積極的に地域に密着した活動を行い、越谷の阿波踊り、川越祭りなどの生中継放送などを行った。地域活性化のお手伝いにもなる祭りやイベントの収録や取材は、もっと増やしていきたい。番組編成は東西 2 つに分けており、同じコンテンツもありますが、ニュースは分けて放送している。J:COM との共同番組も制作していて、県の物産協会や行政と連携し、地場産品やお店・企業の紹介や発掘など、地域活性化につながる番組作りを意識している。11 月には、草加で行われる「埼玉 B 級グルメ王決定戦」を放送する予定。

○経営方針の説明

会社規模は JCN グループの中でも最大で、相応に会社経営の中身も充実させていきたい。当社の経営方針（「地域に信頼される」「地域に必要とされる」「地域に根差した会社作りを目指す」）は、コミチャンの果たすべき役割と深く関係しており、コミチャンをもっと利活用して頂ける様に取り組んでいる。

■審議事項

（菅原委員）

蓮田市をニュースで丁寧に取り上げてくれて、ありがたく思っている。WiMAX 中継は良いと思うが、画像のちらつきが改善できればなお良い。

蓮田市役所内には待合スペースにモニターが置いてあり、現在は市からのお知らせと CM が流れているが、そこでデイリーニュースを流せたら良いと思う。公共スペースで流すことで、たくさんの人に見てもらいたい。

（田川委員）

どうやってコミチャンをみてもらうかが問題。いい番組を作っているのだから、「たまたま見る」のではなく、もっと周知をしたらいいのでは。

（宮崎議長）

11ch を押すとコミチャンが放送されている事を人々が知らなすぎると思う。行政でもあまり取り上げられていないので、議論したい。

（中村委員）

阿波踊りの放送をしているのは知っていたが、最近やっと見た程度。いい放送をしているのに行政も教えてくれないので、広報や新聞にも載せてほしい。私が住む草加は、埼玉都民と言われていて地域に関心がない人が多いので 11ch を見れば地域愛が生まれると思う。

（日野社長）

18 時になったらコミチャンのニュースを見るという様な視聴習慣がつくようにしたい。行政の広報とのタイアップというのはいい案なので、粘り強くお願いしていきたいと思う。

JCN plus 誌ですが、地域情報やコミチャンのタイムテーブル・内容などを掲載していますが、多くの方が見ていないと思っている。利活用とコストパフォーマンスの観点からも、この機会にご意見を聞きたい。

(宮崎議長)

同じフリーペーパーでもクーポンが付いていれば隅々まで良く見るし、地域情報は載っている。この際「日本一のフリーペーパー」を作ってみてどうか。

(藤川委員)

地元の情報を見れば「行ったことあるな」などと思うので根強く地域に入り込むことが必要。PRの方法として、市議会の議員だった審議委員の中村さんに、いろんな大会などで挨拶する際にコミチャンの話をしてもらってはどうか。

(三輪委員)

みんな忙しいのでテレビを見る時間自体が少ない。自宅にはインターネットもあるし、テレビで放送されている番組もネットで見られるようになってきているのが影響していると思う。待ち合わせ場所になるところや、公共の場所に 11ch を PR してはどうか。

(本橋委員)

デイリーニュースは家族全員で見られる内容なので、自分も毎日見たいし、きめ細かい内容なので市民にも是非見てもらいたいと思う。取材もきめ細かくスピーディーで、コメントも家族向きで全体的にいいと思う。取材先で放送日の告知をするのも有効ではないか。前日の放送などもどこかで見られたり市町村別に編集したりして PR するのもいい。plus 誌ではどんな番組を放送しているかを宣伝しているが、全体的に少しずつ紹介するのではなく、1つの番組を細かく紹介するのはどうか。

(横田委員)

WiMAX の画像精度をもっとあげて、もっとイベントなど生中継をして活用できたらいいと思う。コミチャンの PR は課題だと思う。現在はコミチャンの案内は plus 誌だけのことだが、テレビで見られる番組表があるので、ペーパー類はいずれ不必要になるかもしれない。今は新聞を取る若者も少ないし、自分が会社の宣伝をするときも、新聞はあまり効果がないと思う。

(宮崎議長)

いつも取材を受けている側だが、一般市民がどう受け取っているか気になる。

(三輪委員)

取材に「彦摩呂がきたらしいよ」と春日部市内では噂になっていた。ロコミで PR になっていたと思うが、必ずしもビッグネームにこだわる必要はない。春日部市は 7 割が市外からの住民で、そのような人々にどうやって春日部を知ってもらうかが課題。コミュニティー FM を作るには設備等お金がかかり、新聞は若者が見ていないという中で、コミチャンはとてもしっかりツールだと思う。

(宮崎議長)

行政の人が見ても面白く、今まで縁がなかった土地への関心も広まればいいと思う。

(中村委員)

取材に行くことは前もって一般にはわからないのか。

(日野社長)

放送日の PR だけでは無く、取材の PR も大事。

(宮崎議長)

行政との接点を持つのは大切。市役所待合場所にモニターを置くのはいい案。私の勤める鶴ヶ島市役所でもできそうな気がする。放送告知だけでなく、放送後にもこうゆう番組を放送したというアフターケアが必要。

(菅原委員)

蓮田市役所の待合では、行政告知半分、広告半分で流しているが、座って待っている間は絶対にモニターを見るので、放送のリアルタイムではなくても、番組をながせないか。

(木村)

三郷市のららぽーと内に「ららぽっと三郷」があるが、そこで JCN のニュース映像を三郷の情報だけ有償で再編集して流している。

(宮崎議長)

街の中で人が集まるところでデイリーニュースを流したどうか。JCN の顧客獲得活動や行政も多くの人に見てもらいたいと思うので、お互いにうまくできないだろうか。今後、外に向けてのブランディングとして、JCN のコンテンツが生かされると思う。

(横田委員)

川越で「川越小江戸マラソン」が開催され 1 万人規模の大会となる。1 か月前に選手全員に手引きを郵送で送るので、JCN のチラシも一緒に配ろうと思っている。参加選手は県内の方が 7~8 割なので、我々も JCN 番組内で告知をしてほしいし、JCN の PR もしたいと思っている。

(本橋委員)

学校を取材したら、学校側は取材の情報や放送日を保護者のお便りに必ず入るので、確実に情報が伝わるルートは有効に使うべきだと思います。市のイベント等を取材した場合は、行政で PR するのは難しくない。三郷市の例を他の行政にもアピールしたり、災害協定などを結んだらどうか。

(JCN 星)

防災情報については、現在各行政と連携を取り始めている。

■閉会の挨拶

(坂出取締役)

たくさんアイデアありがとうございました。放送局として責任を持って放送し、これからも地域の活性化に取り組んでいきたいと思う。

以上